新聞づくり説明書

新聞の目的:

「人に伝える」 (社会の出来事、人々の思い、記者の意見など)

新聞の「読者」とは… 年代、性別、職業、地域、関心事など、まちまち →「誰が読んでも分かる」必要性

【「人に伝わる新聞」づくり 】 ~新聞社のノウハウの一端~

- ①伝えたいことが何か、きちんと伝わる文章構成
 - ・リード(前文)を作る
 - ・大切なことから書く
 - ・予備知識がなくても理解できる表現や説明
- ②適切・簡潔・分かりやすい見出しの言葉
 - ・記事の内容や、最も伝えたいことを、8~10文字程度で
 - ・1本の見出しで十分説明できない場合、見出しの数を増やす
- ③「何の記事か」「何が大事か」が一目で伝わるレイアウト
 - 「伝えよう」という思いの強さに合った見出しの大きさ、目立たせ方
 - ・記事の内容の理解を助けるような写真・図表などの見せ方

【新聞作りの流れ 】 ~完成形をイメージしよう~



にゅーすけオススメの新聞作り順序

新聞作りは「形」から!

- ①作る新聞のサイズを決める
 - (使う用紙はA3? A4? 字の大きさは? 何ページ作る?)
- **②どんな紙面にするか、全体のイメージを決める** (見出し、写真、グラフはどこに、どれだけ載せよう?)

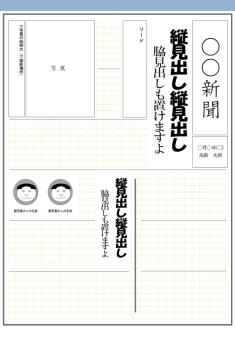


(言葉や大きさ、形など、どんな"売り文句"の新聞にしよう?)

ここまでできたら、あとは残ったスペースに記事を書けばいいんだね!

- ④前文(1段落目に書く要約・まとめ文)と、2段落目以降の記事を書く
- ⑤写真やグラフのサイズを確定する

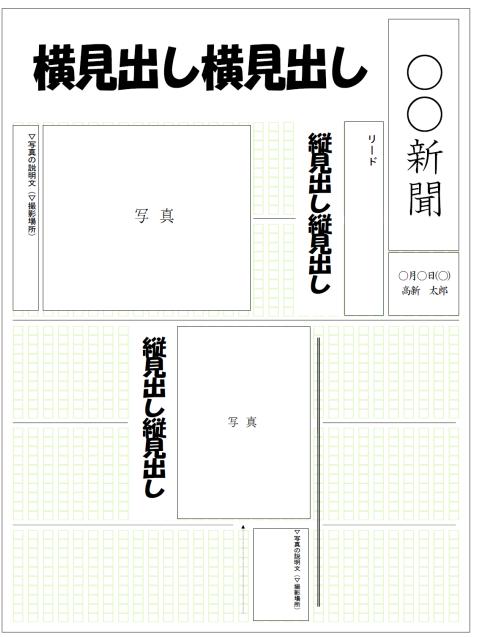
(記事が長くなったら、写真を少し小さくしたり、枚数を減らせばいいんだ。 逆に記事が短めで終わったら、写真を大きくしたり枚数を増やして完成!)

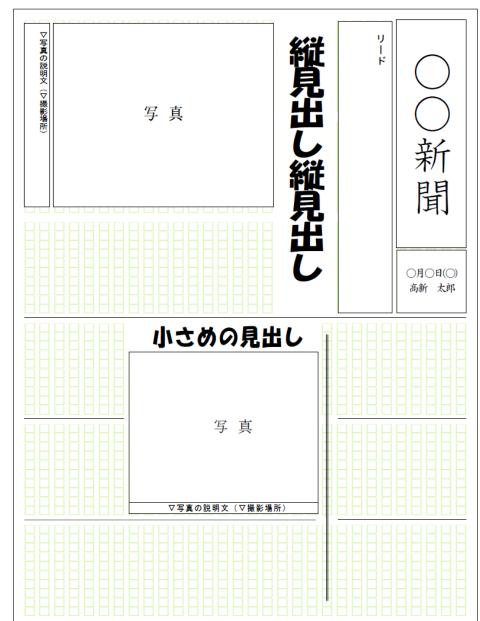




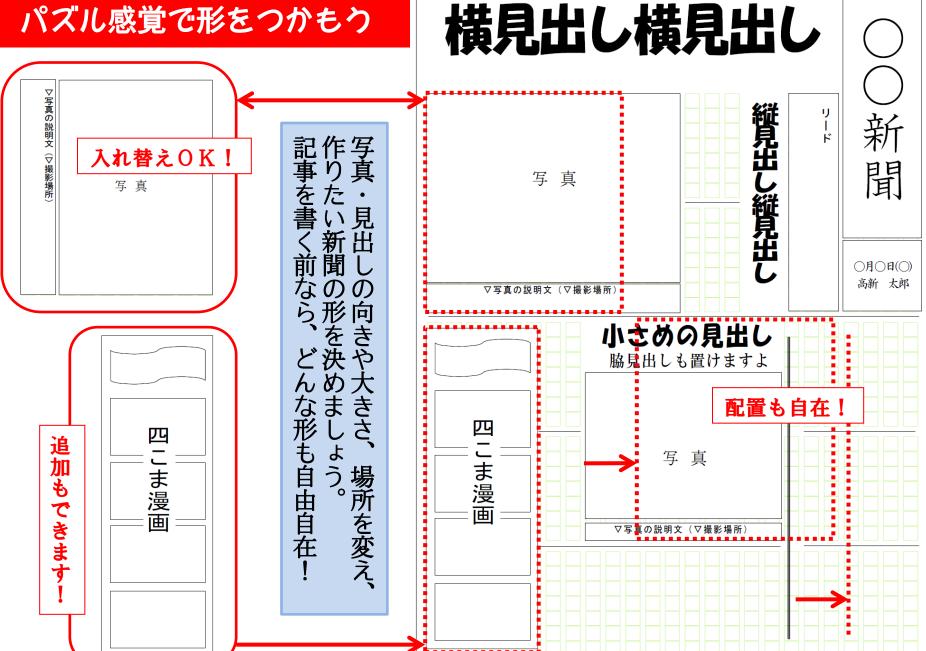
▼横見出しから始まる紙面

▼縦見出しから始まる紙面





アレンジは自由自在! パズル感覚で形をつかもう



【レイアウトの決まりごと】 ~読みやすく、「伝わる」新聞を作るために~

レイアウトの基本ルール①

★見出しは、必ず記事に接する

元ヤクルト吉川さん指導

田野小で運動教室

見出しは「記事の水先案内人」。見出しから記事へと、読者を誘導する役目もあります。 見出しが記事と接していないと、「どこから読むの?」と読者が戸惑ってしまいます。

町の田野小学校で10 【中芸】安芸郡田野 るように」などと手取 走る運動を反復練習し 笛の音で起き上がって と、うつぶせ状態から 体の反応を強化しよう 手首も相手に向け 吉川さんが「足

正しい例実際の新

聞での



吉川昌宏さん=右端=の指導を受ける児童 (田野町の田野小)

元ヤクルト吉川さん指導 田野小で運動教室

悪い例

記事はどこから 始まってるの? この新聞、 分かりづらい!

(35)による運動教室が P在住の吉川昌宏さん (中芸) 安芸郡田野 るように」などと手取 を真っすぐ踏み出し 走る運動を反復練習し 笛の音で起き上がって 手首も相手に向け 吉川さんが「足



吉川昌宏さん=右端=の指導を受ける児童 (田野町の田野小)

レイアウトの基本ルール②

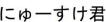
★写真に説明文を付ける

写真を載せる時は、その写真はどんな場面なのか、写っているのはどんな人か、 撮影した場所はどこか…などを、簡単に説明する文章(キャプション)を添えます。

基本的なスタイルは、最初に 説明文を書き、その後に() 書きで、撮影場所を入れます。

顔写真は 名前だけ









泳ぎを終え、次の自転

海もきれいで楽しかっ 金しんどかったけど、 4年の立野凜君(9)は 「暑くて、走るのが一 ルを目指した。



置き場所は、写真の上下左右が 基本です。 実際の新聞を参考にしましょう。

と汗を拭ってい

小が統合した「はりま校式に2~6年生31人あったけど、

段罫のない紙面

(高知市が出席。歌手のう~み顔を見たら、

新堀雰囲気に)ちょっと慣

員で歌った後、山中文堀小の久保陽紀君=6

段罫とは…記事エリアで、横に引かれている細い線。 縦書きの文章を読む際、次の行へ進む「折り返し地点」を示します。 段罫がないと、とても読みにくい新聞になってしまいます。

はりまや橋小が開校

8日開校し、校舎に1小の児童と話し合ってれた。早く新しい友達 期生46人の元気な声が作った新しい校歌を全をつくりたい」。旧新 はりまや町2丁目)がさんが旧追手前、

午後からは入学式が

と市の財政難などとのと一緒にいい校風をつ大勢でドッジボールが 年の介良潮見台、横内呼び掛けた。 開校するのは1998と、 元気よくみんなに月11日、 市内で新しい小学校が校をつくっていこう」らを招いた開校式を5 と新堀小を統合。県産を代表して6年生の都 が減っていた追手前小う」とあいさつ。児童話していた。 旧新堀小の校舎を改修が「全員が新入生にな「はりまや橋」の仲間 材をふんだんに使って築延幸君と清水杏さん開かれ、 新入生65人が 兼ね合いから、児童数くるよう頑張りましょできるのが楽しみ」と し、新校舎にした。同った気持ちで新しい学に加わった。 同校は、学校耐震化恵校長が「先生と友達年生=は「今までより

8日開校し、 期生46人の元気な声が はりまや町2丁目)が や橋小学校」(高知市 響いた。 員で歌った後、山中文

と新堀小を統合。県産 が減っていた追手前小 と市の財政難などとの 兼ね合いから、児童数 と一緒にいい校風をつ 恵校長が「先生と友達 くるよう頑張りましょ

旧新堀小の校舎を改修 材をふんだんに使って し、新校舎にした。同 を代表して6年生の都 築延幸君と清水杏さん う」とあいさつ。児童 が「全員が新入生にな った気持ちで新しい学

いた6年生の門田実久 旧追手前小に通って

校をつくっていこう」

開校するのは1998 市内で新しい小学校が

(宮崎順一)

小が統合した「はりま 旧追手前小と旧新堀 いた6年生の門田実久 この日は午前中の開 あったけど、

旧追手前小に通って

あらためて行

作った新しい校歌を全 小の児童と話し合って をつくりたい」。旧新 れた。早く新しい友達 雰囲気に)ちょっと慣

できるのが楽しみ」と 堀小の久保陽紀君=6 話していた。 大勢でドッジボールが 年生―は「今までより

らを招いた開校式を5 に加わった。地域の人 開かれ、新入生65人が 「はりまや橋」の仲間 午後からは入学式が あらためて行

段罫のある紙面

【ちょっと上手にレイアウト】 ~見た目の良い紙面への2つのコツ~

☆ページの中央をにぎやかに

新聞は、写真や絵などのスペースより、文字エリアの方が広くなることが多い。

紙面を彩る数少ない素材の写真や絵を上手に使うには、配置場所が大切です。

最も大事なのは、「紙面の中央」。

ここに写真や絵、見出しなどを置くと、紙面がぐっと引き締まります!



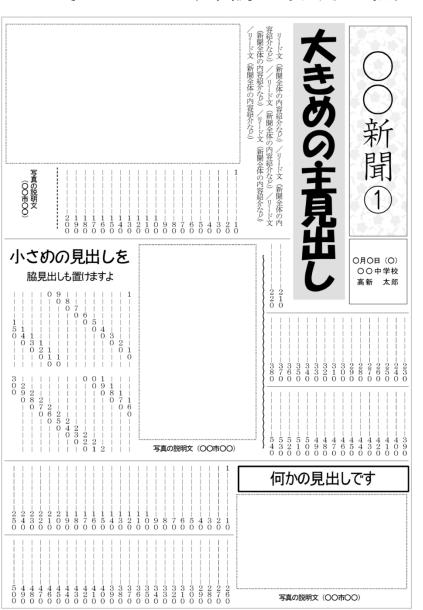




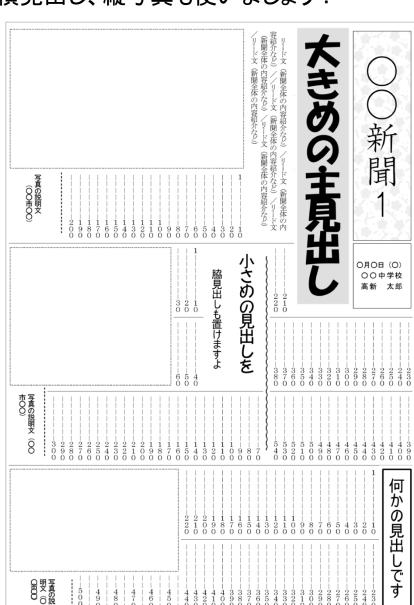
「日の丸弁当」。おかずは、梅干し一つだけ。 見た目の良い弁当にするには、梅干しをどこに置く?

☆縦と横の変化を付けよう

新聞は縦書きだから見出しは縦、カメラは普通に持つと横向きになるから横写真… それだけだと、単調で味気ない紙面になりがち。横見出し、縦写真も使いましょう!



見栄えの良 は記事量 | 見出しや 写真の面積が同じ。



【見出し、どう付ける?】 ~分かる、伝わる言葉・見せ方~

見出しの役割:

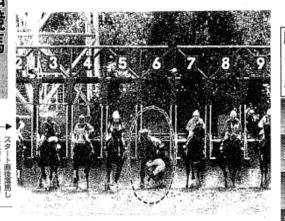
- ① 記事の内容を読者に伝える
- ② 記事の「ニュース価値」を読者に知らせる

「字の大きさ」 「字の形」 「字の色」で表現

見出しの「言葉」

少ない文字数で、記事内容を簡潔に伝える。ウソがあったり、誤解を与える表現は禁物 「文章」と思わず、「キャッチフレーズ」「売り文句」と思って考えよう!

分こり



また来たい」





東京ディズニー

マ」バスに N

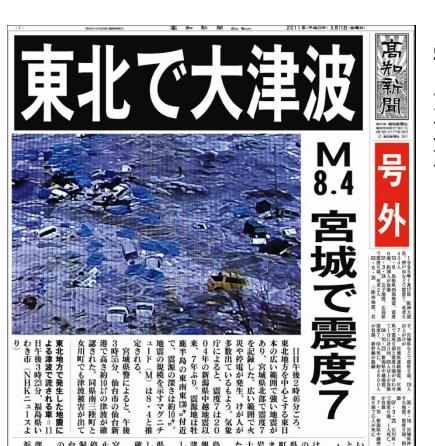


停留所で観光宣伝認めず ラッピング外し運行

局知駅前観光

見出しの大きさ=伝える「声」の大きさ

文字サイズは「重大さ・衝撃度」「伝えたい思いの強さ」に比例します。 「おーい、聞いて!こんな話があった!」と叫ぶ声が大きいのか小さいのか、考えましょう



高知新聞ご購読のお申し込みは変元0120・011754

字の形で伝わる「雰囲気」

見出しの字は、その記事の持つ雰囲気を伝えます。 太くて力強い字、楷書で上品に書いた字、丸い字、 カラーペンでデコレーションした字... 記事の雰囲気に合った字で書いてみましょう。

物雪一夜で銀世界

イメージが合う色を

色には、さまざまなイメージがあります。 明るい・暗い、熱い・冷たい、はっきり・ぼんやり... 見出しへの彩色は、記事とのマッチングを大切に。

【「伝える」「伝わる」記事とは】 ~新聞のスタイルに学ぼう~

①リード(前文)を書く

リードは、記事の重要な部分、最も伝えたい部分の要約。 読者は、リードで記事の概要をつかみ、記事を読み進めます。 概要をつかんでおくことで、スムーズに記事を理解できるのです。

新聞記事の多くは、第1段落がリードとして書かれています。

<u>リードは1つの記事だけでなく、複数の記事でも有効です。</u> これから書く記事も、「取材日」や「取材場所」などは同一です。 そのように重複している要素は、最初のリードでまとめておくと、 何回も書かずに済みます。

(何回も同じことが書いてあると、読者は「くどい」と感じます)

7.73% 310円

来月から

声剰のた機

<u>リードのスタイル :</u>

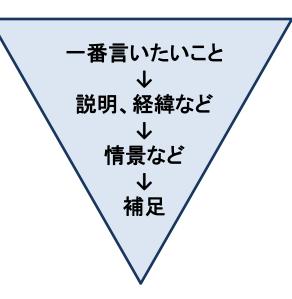
高知新聞ではおおむね、各面のトップ記事のリードを抜き出して見せています。 1行あたりの文字数は、通常の2~4倍ぐらいになっています。 抜き出している理由は、「この記事は、リードだけでも読んでほしい」から。 通常とは形を変えることで、目立たせているのです。

② 大切なことから書く

人に伝わりやすい文章のコツは「逆三角形」。 伝えたいことを一番最初に書くことが、とても大切です。

「こんな新聞をつくりたい」というイメージの中には、 「こんな場面を書きたい」「こんな話を聞き出したい」など、 記事を書く動機や期待があるはず。

また、実際に取材してみたら、「驚き」や「感心」、「楽しさ」、 「新鮮さ」、「心配」など、さまざまな思いが生まれます。



そうして得たものの中から、「一番伝えたいこと」を見つけ、そこから書き始めましょう。

☆逆三角形型文章のコツ:

- ・この新聞で「一番伝えたいこと」をしっかり考える。
- ・その「一番伝えたいこと」を、書き始めの1文目、または1段落目に入れる。
- ・「伝えたいこと」に最低限必要な説明(いつ、どこで、誰が、何を…など)を 足し、読者が何についての話なのか理解できるようにする
- ・その後、理由や背景の説明、場面や様子の描写、感想などで展開する

記事の「締めくくり」に困ったら…「談話」や「感想」に頼ると良いかも?

③ 伝えるためのに必要な要素を押さえる

記事と作文との違い

記事 …「どんな人が読んでも分かる」ことを重視

作文 … 前提条件が一定分かる人に向けて書く場合が多い(教員、保護者など)

「誰が読んでも分かる」ために…

いつ・どこで・誰が・何を・なぜ・どのように<5W1H>

専門的な内容のやさしい説明

客観的・中立的視点からの表現・描写

…などが必要になる。



※「必要な要素」と、「一番伝えたいこと」とを混同しないように!

「必要な要素」を書くためには、取材での確認が欠かせない

それを怠ると… 取材できていない二分からない

→読者に分かってもらえる記事は書けっこない

「何をどう書けばいいか、そのために取材で何を聞くか」を考えてから、取材に行こう!

取材を成功させるコツは、「遠慮しない」。分からないことはどんどん聞きましょう。